

水土里情報を活用した中山間地域等直接支払いについて紹介します

今回紹介する団体：水土里ネットやまなし

取組概要

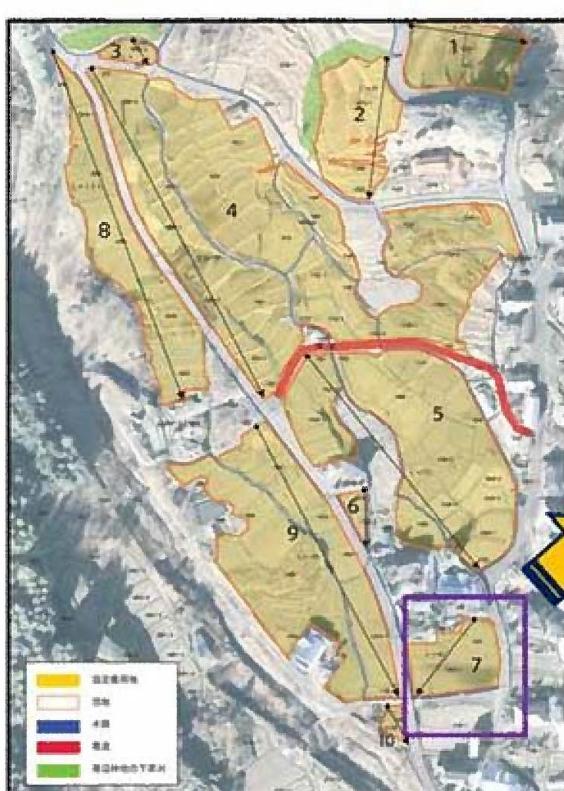
内容：中山間地域等直接支払制度の申請に必要な集落協定および対象農用地を水土里システムに入力し、対象農用地の位置確認と併せて交付申請に必要な団地傾斜計測を行い、基礎資料（データ）を作成する。

経緯：① 以前は、対象農用地および制度に該当する傾斜区分かを地形図から標高を取得し、確認作業を行っていたため、該当するか把握するまでに時間を要していた。
② 平面図により対象農用地、地形計測結果を手作業により作成していたため、対象農用地、地形計測結果の変更、修正が容易にできなかつた。
③ 第5期対策（令和2～6年度）に向けて、担当者が部署異動になつてもスムーズな引継ぎが出来るように管理していきたいと要望があつた。

(対象地リスト)

○○集落協定			
番号	地番	農用地面積	田地番号
1	○○0609-1	1694.0 m ²	1
2	○○2773-1	1290.0 m ²	2
3	○○2380	328.0 m ²	
4	○○1880-3	224.0 m ²	3
5	○○1722-1	281.0 m ²	
6	○○1722-2	299.0 m ²	
7	○○1722	339.0 m ²	
8	○○1740-1	268.0 m ²	
9	○○1740-2	77.0 m ²	
10	○○1742	37.0 m ²	
11	○○1754-1	554.0 m ²	
12	○○1754-2	135.0 m ²	
13	○○1768	144.0 m ²	
14	○○1801	400.0 m ²	
15	○○1800	60.0 m ²	
16	○○1832	109.0 m ²	
17	○○1838	1798.0 m ²	
18	○○1839	416.0 m ²	
19	○○1851	359.0 m ²	
20	○○1883	72.0 m ²	
21	○○1888-1	768.0 m ²	
22	○○1888-2	649.0 m ²	
23	○○1884-1	614.0 m ²	
24	○○1884-2	104.0 m ²	
25	○○1941	1297.0 m ²	
26	○○1941-1	400.0 m ²	
27	○○2380-1	947.0 m ²	
28	○○2380	82.0 m ²	

(対象地平面図)



(拡大図)



※数値等を手入力し図面を作成。

取組による効果

- 取り組み前は、地形図（紙ベース）により標高、距離を計測した結果を基に傾斜度を求めていたが、水田地帯は等高線が少なく標高を求めることが困難であった。
- 今回、GIS を活用し、2,500 レベルの TIN データ作成および傾斜計測時の参考に等高線作成を行ったことで、今後は、担当者が変わっても、等高線と対象農用地を見ながら傾斜計測が容易に出来るようになり、根拠資料作成の時間短縮につながると共に対象農用地を含めて一括管理も図れる。

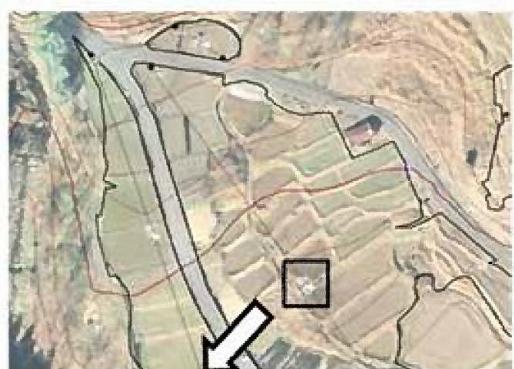
(地 形 図)



(数値地形モデル)



(等高線・対象地傾斜計測)



各交点に標高が登録されている。



傾斜計測結果の表示

今後の活用予定

- 本取り組みでは水土里 Maps へ標高 TIN データ作成および対象農用地を入力し管理が容易に出来るようにしたが、一部閲覧版での作成依頼の相談もある事から中山間地域等直接支払制度の根拠資料作成、修正の支援をしていく。
- また、新たに導入したクラウドシステムで傾斜計測結果の登録が出来るよう改修を行い、閲覧版ユーザを含めて一括管理の推進を図っていきたい。

GIS システムのバージョン情報

GIS アプリ : 水土里 Maps ver7.1
GIS エンジン : SIS7.1 SR3

■お問い合わせ先

山梨県土地改良事業団体連合会（水土里ネットやまなし）事業課 055-235-2653